|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 議事録 | | 発行日：２０１５，１１，２９ |
| 作成者：事務局担当　窪田 |
| 件　名 | ２０１５年度　第４回隊長・支隊長会議 | |
| 配布先  （配布先） | 長谷川隊長、堤副隊長、石崎、長、甲斐、小林勝、小林洋各代表支隊長  勝又青パト隊代表、細野、小笠原、佐藤各本部隊員、上田会計  小城専門班リーダー、林自治会総務 | |
| １．会議の目的：定例会議（２０１５年度第４回） | | |
| ２．開催日時：２０１５年１１月２９日（日）　午前１０：００～１２：００  　　開催場所：小川会館１Ｆホール  　　司　　会：窪田（事務局―会議担当 | | |
| ３．出席者：本部：長谷川隊長、堤副隊長、細野さん、  　　　　　　せんげん支隊：平野さん、片野さん　　下小川支隊：長さん　　かえで支隊：甲斐さん  　　　　　　蜂谷戸支隊：小林（勝）さん、山澤さん、飯田さん　　柳谷戸支隊：小林（洋）さん  　　　　　　自治会総務：林さん　　事務局：窪田　　計１３名 | | |
| ４．全支隊より１名以上出席。よって会議は成立 | | |
| ５．議題と結果（配布資料を参照）  Ａ　隊長挨拶　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長谷川隊長  Ｂ　感謝状贈呈式の報告　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲斐かえで支隊代表支隊長  　　１１月１７日（火）東京消防庁町田消防署主催２７年度「防火のつどい」表彰式での感謝状贈呈。  　　小川自治会自主防災隊の５支隊に対し町田消防署長より感謝状が授与された。  　　出席：石崎（せんげん）鮫島（下小川）甲斐（かえで）清水（蜂谷戸）小林（洋）（柳谷戸）  　　別紙「防火のつどい報告」を参照  Ｃ　各組織からの１０月活動報告（別紙参照）  　　１）せんげん支隊：１１月１５日（日）支隊防災訓練の報告、今回最も力を入れたのは「訓練Ⅲの防災知  　　　　　識」であった。中でも非常用トイレの使い方では参加者の多くが高い関心を示した。前もって凝固剤  　　　　　の使用法や、その効果を確認したうえで参加者に紹介をした。他にアルファ化米の調理法、食料品の  　　　　　備蓄方法について紹介をした。  　　　　　訓練として他にはＡＥＤ訓練、スタンドパイプ放水訓練（デモンストレーションとして２台のＳＰによる同時放水も行った。参加者からの質問で目立ったものはＡＥＤの設置場所に関するものが多かった。  　　　　　感震ブレーカーの購入希望者数についての質問があった。２０数個（？）  　　　２）下小川支隊：１１月１４日（土）に予定していたスタンドパイプ訓練は雨のため中止となった。今後  　　　　　時機を見て今年度中には実施したい。  　　　３）かえで支隊：旗出し訓練の参加率は８２．６％年々参加率は向上している。紛失が４戸あった。  　　　　　同時にトランシーバー通信訓練を行った。また、支隊防災通信第１４号を全戸に配布した。  　　　４）蜂谷戸支隊：①ＳＰ放水訓練　Ａ，Ｂ，Ｃ/Ｄ，Ｅブロックのすべてで行った。（７～１１月）  　　　　　　　　　　　②「生活水・清酒専用通箱アンケート」の結果  　　　　　　　　　　　　　飲料水を備蓄してない世帯は少ないが、生活水を備蓄してない世帯は約６５％。  　　　　　　　　　　　　　通箱の斡旋で全体として５７箱×６本×２Ｌ＝６８４Ｌ増加した。  　　　　　　　　　　③「投擲型消防用具と消火器のアンケート」の結果  　　　　　　　　　　　　投擲型消防用具の購入希望数は６２個となった。実際の購入希望は今後再度調査のうえ決定の予定。（配布の資料を参照）  　　　　　　　　　　④　感震ブレーカーの購入希望は１２月に撮る予定。  　　　　　　　　　　⑤　成瀬中央自治会のバールによる救出訓練の見学をした。（２回）  　　　５）柳谷戸支隊：感震ブレーカーのアンケートについては、他の支隊の様子を参考にして来年１月以降に  　　　　　　　　　　　実施する予定。  　　　６）救出・救護/避難・誘導合同専門班会議：１２月５日（土）１０：００から小川会館にてバール・ジャッキを用いた救出訓練を行う。  　　　７）生活支援専門班会議：①　非常時のトイレの研究　②７年保存できる飲料水（等級ハンズ）の斡旋  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　を考える    Ｄ　１０月２５日実施の総合防災訓練の総括　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局  　　　別紙「総括」用の用紙をメールにて送付するので、１２月末日までに記入の上返信してください。  　　　それをまとめて２月の隊長・支隊長会議に報告する。記入していただく意見は個人的な意見でも組織としての意見でも結構です。  　　　メールアドレスのない実行委員の方にはお手数ですが代表支隊長からコピーをお渡しください。  　　　メールでなく、私の自宅ポストに入れていただいても結構です。    Ｅ　第３回小川小学校避難施設連絡会魏の報告（配布資料参照）　　　　　　　　　事務局  　　開催日時：１０月３１日（土）９：００～１０：３０  　　開催場所：小川会館  　　出席自主防災隊：小川自主防災隊、小川富士見台自主防災隊、西小川親和会自主防災隊、小田急金森自主  　　　　　　　　　　防災隊、町田コープタウン自主防災隊　以上５自主防災隊他の４自主防災隊は事実小川小学校を避難施設としては利用しない可能性が高い。（現時点では確定ではない）  　　決定事項：　マニュアル（案）の避難施設運営委員会の構成員の項目の中の委員長、副委員長の決定と、  　　　　　　　　委員の案を決定した。  　　　　　　　　委員長：小川自治会自主防災隊長  　　　　　　　　副委員長：小川小学校校長、市指定職員（１）、自主防災隊代表（３）（小川富士見台、小田急金森、町田コープタウン）  　　　　　　　　委員：市指定職員（３）、小川小教職員（２）（副校長、教務主任）、各自主防災隊（９）  　　　　　　　　　　　避難者代表（３）  　　　　　　　　・　マニュアル（案）の統括班を「運営本部」とする  Ｆ　２０１６年度購入備品の検討　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　事務局  　　（平成２７年度防災対策予算執行状況は運営経費の大幅な増加により、赤字となる見込み）  　　来年度購入備品の候補  　　　・発電機　２台  　　　・スタンドパイプ  　　　・防災ベスト  　　　・バールを含む救出救護関連備品  　　　・家具の移動用器具  　　　・運営経費  　　　・ボランティア保険掛け金  Ｇ　２０１６年度新年賀詞交換会への出席依頼　　　　　　　　　　　　　　　長谷川隊長  　　別紙参照  Ｈ　東京都地域の底力再生事業助成の最終報告　　　　　　　　　　　　　　　堤副会長  　　５月～１１月の長期に亘った都への手続きが１１月２６日に書類一式を送付して一段落となった。  　　審査が昨年に比べて格段に厳しくなったということもあり、提出書類の細かな不備を指摘されることも  　　一再ではなくその都度皆さんにご協力をお願いしました。  　　あとは助成金が振り込まれることを願うのみです。（２月ごろの見込み）  Ｉ　「非常時の対応・体制」ガイドラインー整備計画　　　　　　　　　　　　事務局  　　①　支隊間の応援の枠組みの検討  　　②　小川会館への本部救護所設置の検討  　　③　非自治会員への加入呼びかけの検討  　　④　ボランティア保険加入の検討  　以上の項目について次回隊長・支隊長会議にて集中的に検討する。  Ｊ　その他  　　①　せんげん支隊からの自主防災隊への４項目の提言（配布資料参照）  　　②　市の助成により購入したスタンドパイプはせんげん支隊に管理を依頼した。  　　③　次回隊長・支隊長会議　２０１６年２月７日（日）午前１０：００～１２：００  　　④　次回会議にて２０１６年度の支隊組織編成の進捗状況の報告をお願いします。 | | |
|  | | |